

## MS5145-AC-U 補足設定

# USB シリアル エミュレーション モードの設定

### 1.概要

USB シリアル・エミュレーション・モードとはバーコードリーダーをUSBで接続していながら、RS-232C 接続機器としてパソコンに認識させる設定です。読み取ったバーコード・データはCOMポートにシリアルデータとして入力します。

なお、製品の出荷時の設定はUSB キーボード・エミュレーション・モードです。パソコンはバーコードリーダーをUSB キーボードデバイスとして認識します。バーコードリーダーの設定を変更すると、USB シリアル・エミュレーション・モードになります。

### 2.対象機種

MS5145は製造バージョン（出荷時期）によって、サポートできる内容が異なります。最新の製品はすべての動作に対応しますが、以前のバージョンは対応しない場合があります。下記の表を参照してください。バージョンは製品本体ラベルに表示しております。

表：

MS5145のバージョン	USBキーボード エミュレーション	USB シリアル エミュレーション モード	
		Uni directional (単方向通信)	Bi directional (双方向通信)
H、S（最新版）	○	○	○
F～G	○	○	×
A～D	○	×	×

### 3.ドライバ

#### 3-1. ドライバファイルを用意する

USB シリアル・エミュレーション・モードに設定するにはパソコンにドライバファイルが必要です。あらかじめドライバファイルをウェブサイトからダウンロードしてご用意してください。

ドライバ配布 URL [http://www.a-poc.co.jp/products/p\\_handlaser/MS5145.html#dl](http://www.a-poc.co.jp/products/p_handlaser/MS5145.html#dl)  
ドライバの項を参照

#### 3-2. 2つのドライバについて

**uni-directional**：単方向通信のドライバです。パソコンからのコマンド送信は不可です。

※Windows Vistaではuni-directionalは非対応です。

**bi-directional**：双方向通信のドライバです。ホストからのコマンド送信が可能です。

双方向のデータ送信をおこなう場合、またはWindows Vistaではこちらを選択してください。

#### 3-3.ご注意

パソコンにドライバファイルが無い状態で設定すると、バーコードリーダーは動作しなくなりますのでご注意ください。もし動作しなくなったら、スキャナを再接続してUSB キーボード・エミュレーション・モードの設定バーコード（※）を読み取り、正常に光源が投光するように設定してください。※5.シリアル・エミュレーションの設定バーコードを参照

#### 4.USB のモードの確認方法

Windows のデバイスマネージャを見ると、接続しているバーコードリーダーの USB のモードを確認できます。

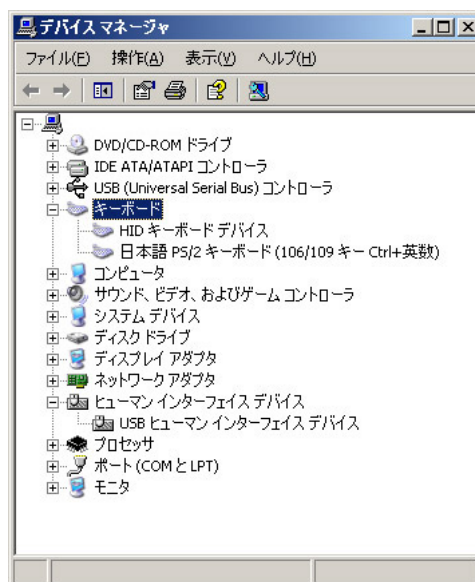
#### デバイスマネージャの起動方法

Windows の[スタート]- (設定)] -[コントロールパネル]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]

#### 4-1.USB キーボード・エミュレーション

バーコードリーダーは次の 2 箇所に表示されます。

- [キーボード]-[HID キーボードデバイス]
- [ヒューマンインターフェイス デバイス]



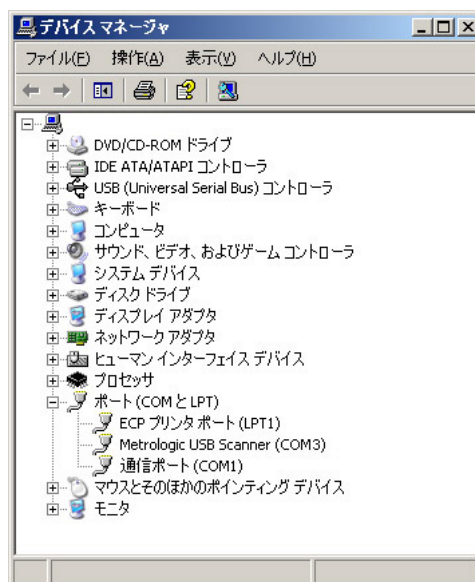
#### 4-2.USB シリアル・エミュレーション

バーコードリーダーは次の 1 箇所に表示されます。

- [ポート(COM と LPT)]-[Metrologic USB Scanner(COMx)]

設定が完了するまでは表示されません。

COM 番号はパソコンによって COM3、COM4 など異なる番号で表示されます。



## 5.USB シリアル・エミュレーションの設定

### 5-1.設定バーコードを読み取る

設定用バーコード **Uni-Directional USB Serial Emulation Mode 許可**または **Bi-Directional USB Serial Emulation Mode 許可**を読み取り、バーコードリーダーを USB シリアル・エミュレーション・モードに設定します。

#### ■設定バーコード

\*はデフォルト(出荷時設定)です



#### \* USB キーボード・エミュレーション モード -

スキャナは USB キーボードをエミュレーションします。パソコンのキーボード入力可能なアプリケーションにキーボードデータとしてバーコードの文字を入力します。



#### Uni-Directional USB Serial Emulation Mode 許可

単方向通信の USB シリアル・エミュレーションの設定を許可します。

ドライバは USB Serial Emulation Driver (**uni-directional**)を使用します。



#### Bi-Directional USB Serial Emulation Mode 許可

双方向通信の USB シリアル・エミュレーションの設定を許可します。ホストからのコマンド通信に応答します。

ドライバは USB Serial Emulation Driver (**bi-directional**)を使用します。

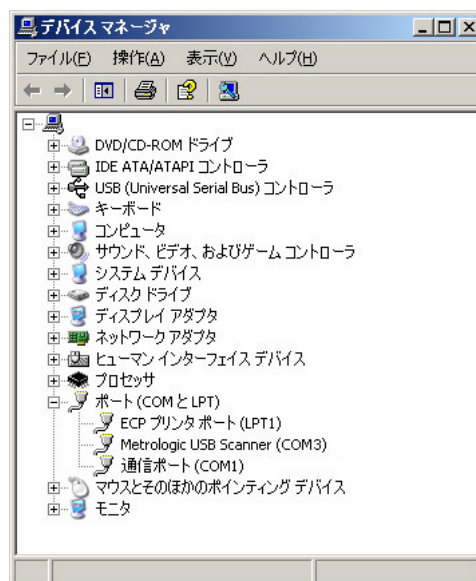
### 5-3.ドライバをインストールする

Windows が新しいデバイスの追加ウィザードを起動します。ウィザードに従いコンピュータを操作してください。

デバイスドライバの場所を求めるメッセージが表示されたらドライバを保存した場所を指定し、ウィザードを進めて、ドライバのインストールを完了してください。

### 5-4.COM の番号を確認する

デバイスマネージャを開き、バーコードリーダーの COM の番号を確認してください。本製品は[Metrologic USB Scanner (COM3)]のように表示します。



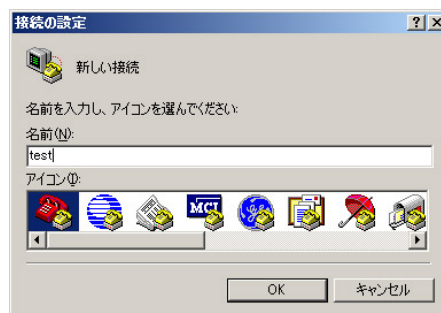
## 6.使用方法

ご使用の RS-232C 通信アプリケーションソフトウェアを起動します。COM の番号をスキャナの COM の番号に変更します。COM を接続したら、バーコードを読み取り、入力できます。使用方法についてはソフトの説明書などをご覧ください。

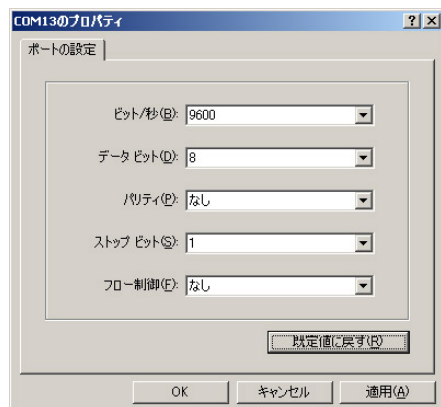
## 7.動作確認の例

Windows XP にインストールされている通信ソフト[ハイパーターミナル]を使用して、簡単な動作確認ができます。Windows の [スタート]-[アクセサリ]-[通信]-[ハイパーターミナル]で立ち上がります。

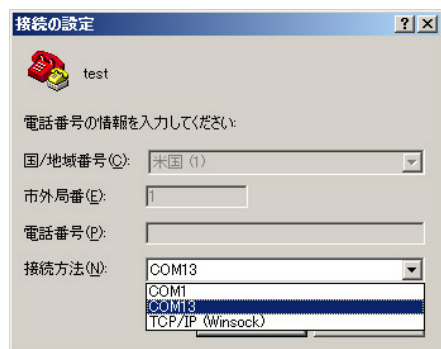
ハイパーターミナル起動直後 任意の名前をつけます。



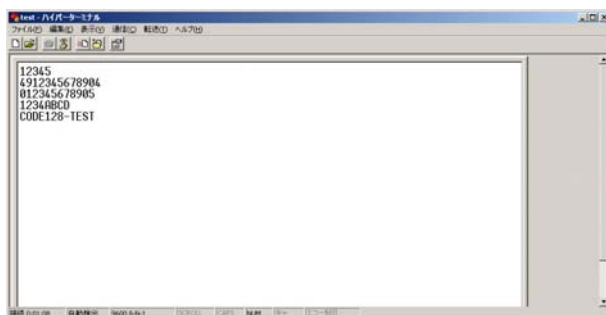
[ポートの設定]のパラメータは任意で設定してください。



[接続の設定]-[接続方法]をバーコードスキャナーの COM ポートに合わせてください。



設定が完了したら、モニタ画面が表示されます。バーコードを読み取ってデータのモニタリングができます。



## 8. **重要** バーコードリーダーの取り外しについて

USB シリアル・エミュレーションに設定したバーコードリーダーの USB ケーブルをパソコンから取り外す場合は、**先にパソコンのシリアル・ポート(通信ポート、COM)をクローズ(切断)してください。**バーコード・データを入力するアプリケーションを実行しているときは、**COM をオープン(接続)したままで取り外さないでください。**

パソコンの仕様上、COM がオープン(接続)したままでデバイスを取り外すと、パソコンやアプリケーションのエラーが発生することがあります。

COM をクローズする方法はパソコンの環境(データを入力するアプリケーション)に依存しますのでシステムご担当者などにお問い合わせください。

例えば次の手順で COM をクローズします。

- ・ アプリケーションから COM ポートをクローズする。(アプリケーションの画面に COM クローズのボタンなどがある環境)
- ・ スキャナを使用するアプリケーションを終了して COM をクローズ(切断)してください。(アプリケーション本体またはアプリケーション中のデータ入力画面の終了とともに COM をクローズする環境)

## 9. ホストコンピュータからのコマンド送信に関する設定

双方向通信 (bi directional) を行い、パソコンからのコマンド送信によってバーコードリーダーの動作を制御する場合は下記の設定バーコードを読み取ってあらかじめ設定してください。

### ■設定バーコード

#### スキャナの動作-ブザーのオプション

\*はデフォルト(出荷時設定)です



**BEL コマンド受信時にブザー音** - この設定を行うと、ホストから BEL キャラクタ (07h) を受信するとスキャナはブザー音を鳴らします。BEL キャラクタの前に 200 msec 以内に数字が送信された場合、スキャナはその数字の数だけブザー音を鳴らします。

例:5 BEL (35h 07h) を送信すると、ブザーが 5 回鳴ります。

\* BEL コマンド無視



#### スキャナの動作-ホスト・スキャナのコマンド

\*はデフォルト(出荷時設定)です



**F/L レーザー・コマンド 許可** - この設定を行うと、ホストから ASCII "F"(46h)キャラクタを受信するとレーザー光がオフになります。ASCII "L"(4Ch)キャラクタを受信するとレーザー光はオンになります。

ご注意: この設定を行う前に、巻末「レーザー点灯モードの設定」から「4.レーザー常時点灯」の設定を行ってください。

\* F/L レーザー・コマンド禁止



## MS5145-AC レーザー点灯モードの設定

### 1 15秒後にレーザー消灯 <出荷時設定>

トリガスイッチを押した後、又は読取の後、  
レーザーは15秒後に消灯します。

スイッチを押すと、再びレーザーが点灯します。



### 2 2秒後にレーザー消灯

トリガスイッチを押した後、又は読取の後、  
レーザーは2秒後に消灯します。

スイッチを押すと、再びレーザーが点灯します。



### トリガスイッチの設定

上記1、2の設定後、お好みで設定してください。

<デフォルト>

トリガスイッチを使用する



(スイッチを押すことで読み取る)

読取スイッチを使用しない



(レーザーをかざすのみで読み取る)

# MS5145-AC レーザー点灯モードの設定

## 3 トリガスイッチ点灯

レーザーはトリガスイッチを押しているときに点灯します。  
バーコードを読み取らない場合は、約2秒後に消灯します。



## 4 レーザー常時点灯

レーザーは常時点灯(点滅)し続けます。



### トリガスイッチの設定

上記4の設定後、お好みで設定してください。(3、トリガスイッチ点灯では使用しません)

<デフォルト>



(スイッチを押すことで読み取る)



(レーザーをかざすのみで読み取る)